

和食への理解を深める

白石ユネスコ協会が「和食を学ぶ研修会」を開催

12月5日、世界無形文化遺産に認定された「和食」を学ぶため、白石ユネスコ協会による「和食を学ぶ研修会」が南中学校で開催されました。講師に小料理ささき（柳町）の店主佐々木和雄さんを迎え、「日本料理について」の講演後、同校の2年生21人が出汁の取り方を学び、ホタテのうま煮、たらこ入りキンピラなど計8品を作りました。だし巻き玉子の実演では、佐々木さんの見事な技を目の当たりにした生徒たちから、大歓声と拍手が起きました。完成した料理は全校生徒で昼食に美味しくいただき、和食への理解をさらに深めていました。



▲講師の実演を真剣に見つめる中学生たち

水泳で友情と交流を深める

姉妹都市親善水泳大会

11月22日、「姉妹都市親善水泳大会」がスパッシュランドしろいしで開催されました。大会には登別市から16人、海老名市から12人、本市から21人の計49人の小学生が参加。「自由形50m」「平泳ぎ50m」など個人4種目とリレーで熱戦を繰り広げました。当市の選手では、「女子自由形50m」で真柄結衣さん（福岡小6年）、「男子平泳ぎ50m」で山口彰太さん（白石第二小6年）が1位になりました。試合後には歓迎昼食会も開催。参加した本市の選手たちの中には、前日から2市の選手と一緒に同施設に宿泊するなど、交流を深める選手もいました。



▲男子リレーで白石市Aチームが3位に入賞しました（左4人）

緑地公園さん いつもありがとう

第25回白石市スポーツ少年団奉仕活動

12月6日、「第25回白石市スポーツ少年団奉仕活動」が白石川緑地公園で行われました。この活動は、スポーツ少年団が普段利用している緑地公園の美化活動を行うことで公共心と郷土愛を育て、子どもの健全育成を図ることを目的に毎年開催。今年も野球、サッカー、空手、柔道、剣道、ドッジボールなどの市内スポーツ少年団13団体の団員・保護者・指導者約200人が参加しました。参加者は朝8時からの約1時間、風で飛ばされてきたビニール袋やタバコの吸い殻など燃やせるごみ約60kg、燃やせないごみ・資源ごみ約20kgなどを拾い集めました。



▲植木の中にあるごみも探し、ていねいに清掃する参加者たち

100歳おめでとうございます

谷津深藏さんに松竹梅敬老祝金

11月27日、満100歳を迎えた谷津深藏さんを風間市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝福しました。深藏さんは丸森町耕野の出身。若いころは、東京で工場に勤務。白石に引っ越して来てからは、衣料品の販売に従事しながら、5人の子どもを育てました。現在、孫が9人、ひ孫が3人います。現在は特別養護老人ホーム八宮荘に入所。相撲が好きで、よく、テレビの相撲中継を見ていました。好きな食べ物は、りんごやなし、みかん。ご家族は、深藏さんの長生きの秘訣を「好きな物を食べる」と話してくれました。



▲深藏さんの長寿を祝うご家族・施設の長橋理事長と風間市長

解体処分の迅速化を図る

有害鳥獣解体場落成式

12月3日、福岡八宮字弥治郎地区に建設を進めていた有害鳥獣解体場が完成し落成式を行いました。

この解体場は、おもに東日本大震災による原発事故の影響で増加したと思われるイノシシの処分に利用。解体作業は地元の猟友会会員などで組織する鳥獣被害対策実施隊が行います。

これまで捕獲したイノシシは、穴を掘って埋めて処分していたため、処分場所の確保と重労働が問題でした。今後は、同解体場で10kg以下に解体し焼却施設で処分。作業の迅速化と省力化が可能になりました。



▲解体場の設備を確認する関係者たち

100歳おめでとうございます

飯野千代子さんに松竹梅敬老祝金

12月7日、100歳を迎えた飯野千代子さんを風間市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝いました。千代子さんは仙台市の出身。結婚後は、縫い物やさまざまな内職をしながら子どもを育て、家庭を支えてきました。現在は子どもが1人、孫が2人います。趣味は花づくりで、バラやシャクヤクを育てていました。

好き嫌いなくなんでも食べ、ほどほどのアルコールを飲むのも楽しみのひとつです。長生きの秘訣は「人のことに腹を立てないこととよくよくよしないこと」とご家族が話してくれました。



▲千代子さんの長寿を祝うご家族や施設職員と風間市長

大坂の陣と真田家

上廣歴史文化フォーラムを開催

11月22日、「大坂の陣と真田家」をテーマに、歴史文化フォーラムを中央公民館で開催しました。この日は、県内外から約200人が参加。講師は長野市立博物館学芸員の原田和彦さんと大阪城天守閣館長の北川央さんが務め、原田さんは「真田家の系統について」、北川さんは「真田信繁（幸村）と大坂の陣」について講演を行いました。訪れた参加者は「真田幸村公が大坂の陣で、豊臣方にとって特に重要な人物だっかがよく分かった。NHK大河ドラマ『真田丸』の放送が、今から楽しみです」と話してくれました。



▲歴史ファンが集まり熱気に包まれた講演の様子

高齢者の安心のために！

仙南電気事業協同組合が奉仕作業を実施

11月18日、市内の一人暮らし高齢者宅で仙南電気事業協同組合による奉仕作業が行われました。この奉仕作業は、社会貢献活動の一環として、昨年からは実施しているもの。民生委員から紹介のあった10世帯を対象に、安全に電気設備を利用できるように漏電検査やコンセントの点検、電気設備の清掃、電気器具の交換を行いました。作業をしてもらった高齢者は「普段、目の行き届かなかった所を点検をしてもらい、安心しました。一人暮らしで、手が届かない場所を清掃したり、交換をもらったりして、うれしいです」と笑顔で話してくれました。



▲点検作業を行う仙南電気事業協同組合員